

December 2010 Vol.33

OrPAllOZ

ウーラノス

8号館

会輝く

高校野球公式戦の球審として活躍

法学部3年 ふだ しゅうと 布田 秀斗さん

高校時代は野球部に所属。大会でストライクだと思った球をボールと判定され、選手が戸惑わないような判定をしたいと思い、大学入学後、審判団に加入しました。高校野球の公式戦で何度か塁審を経験した後、3年の春から球審を務めるようになりました。

選手だった頃に比べて、審判をしている今の方が緊張します。自分の一挙手一投足に、球場全体が沸き返るので、本当にぞくぞくしてきます。高校野球の審判は県内に140名ほどいると言われていますが、若手はごくわずか。世代を超えた人とのつながりを通じて、自分の視野はぐんと広がりましたね。審判としての技術を継承し、レベルアップを図りながら、これからも宮城の高校野球に貢献できるように頑張りたいです。



東北学院大学
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY



心に灯る聖書の言葉

本学は「若者の心を育てる」ことにかけて、日本でもっとも力を入れている大学だと思っています。創立以来、125年近くも毎朝の礼拝を守り通していることは、その証でもあります。聖書の言葉を通じて、自分を見つめ、心に磨きをかけるという経験は、人生の中で必ず大きな意味を持ってきます。優れた先人の歩みはもちろん、家族や友人のこと、将来のことなど、まっすぐに自分と向き合う時間を持つことは、人格を形成するうえでとても重要です。

私自身、クリスチヤンの家庭で生まれ育ち、聖書の言葉には幼い頃から親しんでいます。聖書の中では「艱難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を」という言葉が好きです。これは新約聖書の「ローマの信徒への手紙」第5章にあるパウロの言葉で、私自身の人生の中でも力強い励ましの言葉として大きな意味を持っています。

私が4歳半の頃、仙台は大空襲に遭いました。とにかく食べるものがなかった時代。まわりからは「日本は資源のない国。人間の頭脳で頑張るしかない」という話を繰り返し聞かされてきました。その後、私は研究者として40年あまり自分の信じた研究を続けてきましたが、心が折れそうになったことは何度もあります。そんなときに私を奮い立たせてくれたのが、この新約聖書の言葉——艱難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を——なのです。

大学を含めて東北学院には約16万人の同窓生がいます。テレビや新聞、あるいは、企業の方々などから、本学の卒業生の活躍ぶりを耳にするとときに思い浮かぶのが、聖書の中の「地の塩」という言葉です。この言葉は社会のために役立ちたい

という熱い思いが、卒業生の中に息づいていることと重なり合います。塩というのは、それ自体では決して自己主張をせず、常にま



わりに溶け込んで料理の味を引き立ててくれますが、本学の卒業生も社会のためになるように、一人ひとりが持ち味を発揮しています。こうした卒業生の「地の塩」としての活躍が、やがて大きな力となって本学の地域貢献を支えているのです。

2011年5月、東北学院は創立125周年という節目の年を迎えます。本学の長い歴史をひも解いてみると、工学部の初代学部長である故・永井健三先生は、現在でも世界中で使われている磁気記録方式という世界的な発明を成しとげ、日本の科学技術の発展に大きく貢献しました。自らの創意工夫で日本の産業界を輝かせた永井先生のスピリットは、地域の活性化をめざす本学の地域貢献活動の中でも脈々と受け継がれています。

聖書の言葉というのは、西欧文明の根幹をなしており、これからの時代にふさわしい国際人としての常識にも通じるものがあります。「若者の心を育てる」ことにかけてはナンバーワンの大学である本学の卒業生が、日本中、ひいては世界における「地の塩」として、可能性の翼をさらに大きく広げることを願っています。



学長
星宮 望
Nozomu HOSHIMIYA



キャンパス点描



土樋キャンパス



土樋キャンパス・本館



泉キャンパス



土樋キャンパス



多賀城キャンパス



約16万人もの同窓生の笑顔を糧に、2011年5月、東北学院は記念すべき創立125周年を迎えます。本学の長い歴史の中で、変わることなく受け継がれてきたもの、それは聖書を基軸にした心の教育です。本学ではこれからもキャンパスの主役である学生の個性を大切に、限らない未来へと向かって躍進してまいります。

もくじ Contents

情報フロントライン / 「おもてなしの経営学」開講 宮城の女将に学ぶサービスの極意	3
先生ってこんな人 / 菅原 研先生(教養学部) / 河西 晃祐先生(文学部) / 金 義鎮先生(工学部)	4
キャンパスで聞きました! / ここがスゴイぞ!学院大	5
青春ing / '10東北学院大学大学祭実行委員会	6
ズームUP! / 秩父宮賜杯 第42回 全日本大学駅伝対校選手権大会	6
TGUインフォメーション	7~9
TGUカレンダー	9
歴史を伝え、今に導く 24 / 杉山元治郎と私立小高農林高等学校	10
我ら卒業生 / 日光市立今市中学校教諭 熊谷 明子さん	11



「おもてなしの経営学」開講 宮城の女将に学ぶサービスの極意



秋保温泉「篝火の湯 緑水亭」
高橋知子女将



南三陸「ホテル観洋」
阿部憲子女将



遠刈田温泉
「心づくしの宿 源兵衛」
佐藤久美子女将



鳴子温泉郷中山平
「名湯 秘湯 うなぎ湯の宿 琢瑠」
佐々木久子女将



鎌先温泉「時音の宿 湯主一條」
一條千賀子女将

■経営学部の新たな科目として

経営学部は、経済学部商学科および経済学部経営学科を発展的に改組することで、2009年4月に新設されました。経営学部は、教育目標として「理論と実践の融合」を掲げ、これまで大学が得意としてきた理論的・学術的な講義に加え、産学連携の仕組みを活用した実践型講義を展開しています。例えば会計や財務分野では学外専門組織と協力しながら学生による簿記検定やファイナンシャル・プランナー資格の取得を支援し、また経営分野ではビジネス・ケースという欧米の経営大学院(MBA)で多用される教育方式を学部学生向けに展開することで学生や社会から高い評価を受けています。このような実践型科目のなかで、経営学部の新しい看板科目として育ちつつあるのが、今回ご紹介する「総合講座 おもてなしの経営学」です。

■「みやぎ おかみ会」と産学連携協定を締結

「おもてなしの経営学」を開講するにあたり、宮城県内の温泉・ホテルの女将が組織する「みやぎ おかみ会」と東北学院大学経営学部は、2009年3月に産学連携協定を結び、その様子は地元新聞や経済新聞でも大きく報じられました。その後、半年間の準備期間を経て、2009年9月から実際に講義がスタートしました。女将と経営学部教員によって共同運営され、まず教員たち(斎藤善之教授、村山貴俊教授、佐々木郁子教授、折橋伸哉教授、松村尚彦准教授)がサービス経営の理論などを学生に講義した後、女将たちにご来校頂きサービス経営の実践を語って頂きます。学生は、教員が講義のなかで教示した理論を用いて女将の話を整理・解釈し、学期終了時に分析レポートの提出を課されます。学生レポートは、小冊

子に取りまとめた後、女将にもお渡しします。女将にレポートを読んで頂けるとあって、学生はかなり真剣にレポート作成に取り組むこととなります。事実、昨年度は、温泉地のPRや旅館経営の在り方への改善提案を含む優れたレポートが幾つもみられました。

■学生や地域のための実践教育の拡充をめざして

2009年度は、遠刈田温泉「かっぱの宿 旅館三治郎」の大宮富貴子女将、松島「ホテル松島大観荘」の磯田悠子女将、小原温泉「旅館かつらや」の四竈明子女将、鳴子温泉「名湯の宿 鳴子ホテル」の高橋弘美女将、「財団法人観光コンベンション協会」の千葉久美常務理事にご講義を頂きました。2010年度は、5週にわたり、秋保温泉「篝火の湯 緑水亭」の高橋知子女将、南三陸「ホテル観洋」の阿部憲子女将、遠刈田温泉「心づくしの宿 源兵衛」の佐藤久美子女将、鳴子温泉郷中山平「名湯 秘湯 うなぎ湯の宿 琢瑠」の佐々木久子女将、鎌先温泉「時音の宿 湯主一條」の一條千賀子女将の順にご登壇を頂き、各旅館の歴史や格式、そして独自のサービスやおもてなしへの拘りについてご講義を頂きました。

今後、これまでの女将の語りを編集し、教員の分析と解説を加え、著作『おもてなしの経営学 宮城の女将が語るサービスの極意』(仮題)として出版し、東北学院大学発の新たな経営学として世に問うという計画があります。さらに、2011年の冬(2月)には、「おもてなしの経営学」の講義内容を広く市民の方々に紹介する公開シンポジウムを土樋キャンパスにて開催する予定です。このような実践教育の拡充という経営学部の新たなチャレンジを、いっそうご支援頂ければ幸いです。



先生ってこんな人

アリの不思議



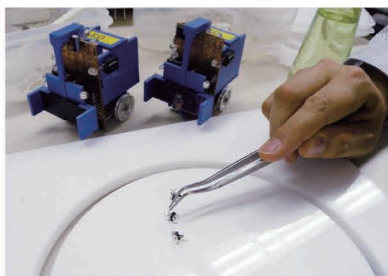
すが わら けん
菅原 研先生

教養学部

私は、本で調べたアリの動きをヒントにしなが、見つけた荷物をみんなで協力して運ぶ群れロボットを創って来ました。あるとき、「もっとしっかり本当のアリの動きを調べよう」と思い、アリを飼育・観察しているうちに、アリのとりこになってしまいました。単独では単純な振る舞いしかしないのに、集団になると複雑な行動をとるアリ。調べれば調べるほどいろいろな“ルール”が見えてきて、本当にわくわくします。ロボットに応用できる特性もたくさん出てきました。現在、私が注目しているのは「トゲオオハリアリ」という沖縄に生息しているアリで、コンピュータによる画像解析を通して、このアリがもつ活動パターンの特徴について調べています。

これからもアリとロボットの接点を見つけ、そのしゅくみを活かしながら、社会のために役立つロボットを創りたいですね。

(担当科目／画像処理論)



トゲオオハリアリ。その奥に並んでいるのがアリをヒントに創ったというロボット。

釣りを楽しむ



かわ にし こう けん
河西 見祐先生

文学部

東京生まれの私にとって、宮城は自然の宝庫。四季折々の自然を体感しながら、川や海で釣りをするのが好きです。市街地からそれほど離れていない場所で、天然のイワナやヤマメが釣れるのにはびっくり。夏場は朝4時に家を出て、7時には戻ってくる人が多いのですが、朝焼けの中で釣り糸を垂らしていると、とても満ち足りた気分になります。一人になって自然との対話を楽しめるのは釣りの魅力ですが、やがて子供たちが大きくなったら、ぜひ親子でチャレンジしたいですね。

最近は家族でキャンプも始めたので、楽しみがますます広がってきました。山菜やキノコなど、自然からの恵みを発見できることも大きな喜びの一つ。私に釣りの楽しさを教えてくれた父や弟、子供たちと一緒に、みんなでアラスカに行つてサケを釣るのが夢です。

(担当科目／現代史)



秘密のポイントで釣り上げたという30cmのイワナ。

尚武からの贈り物



キム ウィ ジン
金 義鎮先生

工学部

「尚武」とは準備を確実にして実力を身に付けるという意味の言葉で、私の座右の銘でもあります。韓国出身の私は大学3年のときに学生軍事学校に入校し、大学の勉強と軍事学を同時に学びました。大学卒業後の約2年半、将校として軍人の道を歩みながら、陸軍の砲兵と情報学校でそれぞれ専門教育を受けました。軍での生活は皆さんの想像にお任せしますが、そこでの「無から有をつくる」という体験を通じて、パイオニア精神は人一倍身に付きましたね。

私がよく学生たちに「自分の力で何とかしなさい」というのは、極限の状態の中、自ら可能性を切り拓くしかなかったあの頃の体験があるからです。世の中もちろん平和が一番ですが、将校時代の経験や当時の仲間は、私の人生のかけがえのない心の財産になっています。

(担当科目／オーディオビジュアル工学)



少尉時代(1994年度)の砲兵学校で。

キャンパスで聞きました!

今回のテーマ ここがスゴイぞ! 学院大

一つのテーマに対して、みんなはどう思っているのか、キャンパス内の声を集めたこのコーナー。今回は「ここがスゴイぞ! 学院大」をテーマに聞いてみました。

工学部には企業出身の先生方が多く、就職のことで気軽に相談ののってもらえます。

3年生・丸山さん



工学部は実験がスゴイ! 応用できる範囲が広く、就職にも活かせると思います。

2年生・喜古さん



学院大は早い段階からの就職支援が充実。自分の進路を決めるのに役立ちます。

2年生・佐藤さん

泉キャンパスは高台にあるので、夜景がきれい。四季折々の自然も楽しめます。

1年生・藤原さん



学院大は学食がおいしい! 特にリーベの「鶏から揚げ丼」は最高です。

1年生・穴戸さん



情報処理室のパソコンはとても重宝しています。図書館のDVDも豊富。

3年生・安部さん

学院大はとにかくキャンパスがきれい。...きれいな子もたくさんいます!

3年生・高橋さん

入学したての頃は、学生の多さとキャンパスの広さにはビックリでした。

1年生・岡本さん



キャンパスが広くてきれい。他県出身者が多く、方言もバラエティー豊かです。

1年生・竹ヶ原さん

ライフル射撃部に所属。学内に射撃場があるのは大きな魅力の一つです。

3年生・平井さん



みんな個性的で、多くの出会いがあるのは学院大のスゴイところだと思います。

3年生・柏さん

同じ学科の中でも、各分野ごとに素晴らしい先生方がいるのはスゴイですね。

3年生・鈴木さん

90周年記念館の大ホールには圧倒されます。客席が多く、音楽や演劇などのイベントも楽しめます。

4年生・長谷川さん

施設や設備は「スゴイ」の一言。工学部には世界でたった一つの実験装置もあります。

3年生・荷川取さん

皆様のご意見をお待ちしております。

編集室では「ここがスゴイぞ! 学院大」というキーワードにちなみ、読者の皆様からのご意見やご感想を募集中です。ご応募は、住所・氏名・連絡先をご記入のうえ、下記のメールアドレスあてにお送りください。

E-mail: uranos@t-gakuin.jp



'10東北学院大学大学祭
実行委員会の委員長を務
めた千葉一樹さん。

大学祭はみんなが輝く場所

———'10東北学院大学大学祭実行委員会

「大学祭を一人ひとりが輝ける場所にしたい。今年の大学祭のテーマである『流星群』には、そんな思いを込めました」と語るのは、'10東北学院大学大学祭実行委員会の委員長を務めた千葉一樹さん(経済学部4年)です。10月10日(日)~11日(月)の泉キャンパス祭、10月22日(金)~24日(日)の六軒丁祭では、大学祭実行委員会のメンバーが力を合わせて、多くの人に楽しんでもらえる大学祭を演出しました。巨大紙相撲大会の「D-1グランプリ」や、『流星群』をイメージしたイルミネーションなど、新しいアイデアも満載。

「本格的な準備を始めたのは4月から。裏方の仕事が多く苦労の連続でしたが、大学祭でみんなの喜ぶ顔を見たときは本当にやってよかったと思いました。これまでの活動を通じて広がったネットワークは、学生時代の大切な宝物です」。

サークルと違って大学祭実行委員会の任期は1年限りですが、心一つにして頑張りぬいた仲間の絆は、これからも輝き続けるに違いありません。

ズーム
UP!

秩父宮賜杯 第42回 全日本大学駅伝対校選手権大会に 出場!

“大学駅伝日本一”を決める「秩父宮賜杯 第42回 全日本大学駅伝対校選手権大会」が、11月7日(日)、名古屋・熱田神宮西門前―三重・伊勢神宮内宮前の8区間(106.8キロメートル)で繰り広げられました。今年は全国から25大学と東海学連選抜(オープン参加)の26チームが出場。東北地区予選会を2位で勝ち抜き、5大会ぶり16回目の出場を果たした本学は、力強い走りで襷をつなぎ、24位でゴールしました。

規律や挨拶なども含め、全国という大舞台に立てるだけの価値あるチームをめざしてきたという遠藤良則監督。「他大学と競り合えるだけの突出した選手がいない分、チーム力でカバーしたい」と大会前に語っていたように、選手一人ひとりがベストを尽くして、伝統の襷とともに、チーム全員の思いをつなぎました。

沿道では仙台から駆けつけた応援団やチアリーダー、常任委員会の学生、教職員などが盛んに声援を送っていました。



TGUインフォメーション

各キャンパスで利用できる 就職部は“就活”のキーステーション

大学新卒者の就職は依然として厳しい状況が続いていますが、自分の希望する道へ進むためには、就職部をいかに活用するかが大きな鍵を握ってきます。本学には、土樋・泉・多賀城の各キャンパスに就職課(係)と資料室があり、どのキャンパスでも共通のサービスを受けることができます。

就職部は企業を訪問したり、来学した企業の方に対応したりすることで、多くの企業と接点があります。そのため、企業のホームページや会社案内などのパンフレットでは得られない“生きた情報”が集まっています。情報収集の場としてはもちろん、困ったときや迷ったときに気軽に相談できる“就活”のキーステーションとして、ぜひ積極的に活用してください。

■ 就職部の利用時間

	月～金曜日	土曜日
就職部窓口	8:30～17:00 (礼拝時間・昼休みは閉室)	8:30～12:30
資料室	8:30～20:00 (泉・多賀城は17:00まで)	8:30～17:00 (泉・多賀城は12:30まで)

※利用時間の変更は掲示板で確認してください。

就職活動の強い味方!

本学では、就職活動の予定が記入できる手帳と就職に役立つ情報が満載の『PLACEMENT(プレイメント)』をはじめ、求人状況や就職状況、内定企業などがわかる「就職ガイド『DATA』」、先輩の就職活動体験記を集めた「就職ガイド『VOICE』」を配布し、学生の就職活動をサポートしています。



企業研究セミナーを 開催します



2月8日(火)～10日(木)、仙台サンプラザホールで「企業研究セミナー」を開催します。全国的に有名な上場企業や地元の有力企業など、約400社が参加し、人事ご担当者とお話することができます。内定につなげるための大きなチャンスでもあるので、ぜひ活用してください。

就職部の役割

★就職に関する各種説明会・ガイダンス・講演会の開催

就職活動ガイダンスでは、自己PR、業界・企業研究の仕方、マナー、履歴書・エントリーシートの書き方など、具体的な指導を行います。就職支援講演会では、企業の求める人材など、幅広いテーマを設定しています。

また、全学部を対象とした合同企業説明会として「企業研究セミナー」を開催しています。

★各種講座・模擬試験の実施 (SPI・適性検査)

業界ごとの幅広い知識や情報が得られる業界研究講座をはじめ、エントリーシート添削講座や面接対策講座など、実践的な指導を行っています。公務員講座も充実しています。

★就職相談・個人面談

就職活動に向けての悩みや不安は誰にでもあるものです。まずは気軽に相談してみましょう。

★求人受付・公開

★採用情報の収集

★卒業生の動向調査

➔他にもさまざまな就職支援を行っています。詳しくは大学のホームページをご覧ください。
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>

◎一般企業や教員、公務員など、希望する就職先を問わず、卒業予定者は必ず就職部で就職登録を行ってください。

「東京就活ルーム」を 活用してください

1月10日(月)から期間限定で「東京就活ルーム」をご利用いただけます。場所は東京都港区の(株)文化放送キャリアパートナーズ内です。詳しくは就職部までお問い合わせください。

●就職部 TEL.022-264-6481

文 学部に総合人文学科を 新設します

大学の設置以来、キリスト教に基づく人文学教育（ヒューマニティーズ）を担ってきた文学部。2011年4月には文学部のキリスト教学科を改組し、総合人文学科が誕生します。総合人文学科の新設に伴って、新しい文学部は3学科12分野専修体制となります。



●新・文学部 <http://tgu-jinbun.jp/>

銀 行員が講義する 提供講座を開設します

本学は(株)七十七銀行と提携し、銀行員が銀行業務について講義する提供講座を経営学部を開設します。講座は3・4年生が対象で、2011年10月に開講。金融制度や証券業務、貸し付け業務などをテーマに学びます。



社 会人の入学の チャンスが広がっています

本学では社会人特別入学試験（B日程）を3月3日（木）に土樋キャンパスで実施します。出願書類の審査のほか、小論文と面接により総合的に選抜します。出願期間は2月16日（水）～23日（水）15時まで（郵送必着）。合格発表は3月12日（土）で、入学手続きは3月25日（金）15時まで（郵送必着または窓口受付）となっています。

募集定員や出願資格は学科によって異なりますので、詳細については受験ガイドやホームページなどで確認してください。

●入試部 入試課 TEL.022-264-6455

平 成23年度より学生支援システム 「MY TGU」を開設します

本学では、インターネットに接続できるパソコンがあれば、場所や時間に制約されず、学外からでも利用できる学生支援システムを平成23年4月に開設します。これによりWebサイト上での科目登録（Web履修）やシラバスの閲覧が可能になるほか、大学からのお知らせや時間割、休講情報など、大学生活に必要な情報をポータルサイト上で参照できるようになります。

平成23年度は準稼働（利用メニューに制限有）で、本稼働は平成24年4月からの予定です。

お 帰りなさい、懐かしの母校へ ホームカミングデーを開催しました

10月16日（土）、ホームカミングデー（第11回同窓祭）を開催し、土樋キャンパスのラーハウザー記念東北学院礼拝堂には、懐かしい出合いを心待ちにしていた100名あまりの同窓生が集まりました。記念式では、星宮望大学長・同窓会長の挨拶に続き、卒業生を代表して職業会計人TG会長の松本孝一氏から挨拶がありました。



また、江陽グランドホテルで行われた「懐かしい出合いの夕べ」には、東北はもちろん、北海道や東京、名古屋、大阪などから413名の同窓生が集まりました。今年は女性の参加が多く、会場はひととき華やいだ雰囲気になっていました。

全国に広がる校友の輪。ホームカミングデーに関するお問い合わせは、東北学院同窓会（庶務部校友課）まで。

●東北学院 庶務部校友課
TEL.022-264-6468

本学独自の クリスマス行事を行いました

本学独自のクリスマス行事として、12月3日(金)に「第22回泉キャンパスクリスマス」が泉キャンパス礼拝堂で、また12月17日(金)には「第61回公開東北学院クリスマス」が土樋キャンパスラーハウザー記念東北学院礼拝堂でそれぞれ行われました。

泉キャンパスでは、地域の皆さんとともに、音楽で綴る楽しいクリスマスのひとときを過ごしました。また、土樋キャンパスでは、クリスマスらしい厳かな雰囲気の中、「メサイア」の演奏などが披露されました。



博物館の展示内容が 一部変わりました

博物館では展示内容の一部を変更し、新たに「シリーズ モノづくりの現在 vol.1『仙台の曲輪』」を3月1日(火)まで展示公開しています。仙台ではただ一人の曲輪・金網職人、尾崎國男さんが手作りしたもので、牛タン焼き用の金網や洋菓子店で使用する粉飾、医学研究用の試験官立てなど、伝統的な技術を活かした道具の世界と出会うことができます。今回の展示替えは、博物館学芸員資格課程の実習として歴史学科の学生により行われました。

2009年11月に開館し、1年間で1,630人が来館した博物館。これからも本学のさまざまな研究を通じて蓄積された知的財産を広く展示公開してまいります。



▲歴史学科の学生による展示替え

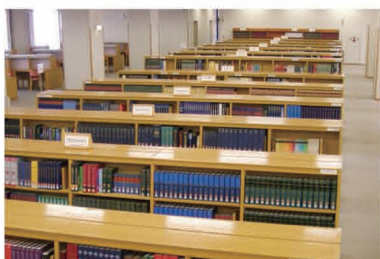
●博物館
TEL.022-264-6920

図書館ガイダンスを 実施しています

図書館では、年に数回、各キャンパスの図書館ごとに「図書館利用説明会」や「情報検索講座」、「データベース講習会」などの図書館ガイダンスを行っています。これは図書館を利用する皆さんの利便性をさらに高めるためのもので、各図書館ごとにそれぞれ工夫を凝らし、毎回多くの学生が参加しています。

有効に活用することで、大学での学びの幅がぐんと広がる図書館。図書館ガイダンスの詳細については、各図書館までお問い合わせください

- 中央図書館 TEL.022-264-6493
- 泉キャンパス図書館 TEL.022-375-1174
- 多賀城キャンパス図書館 TEL.022-368-1206



T G U カレンダー

1 January

15 SAT ▶ 16 SUN 大学入試センター試験

2 February

- 1 TUE ▶ 3 THU 一般入試(前期日程)
- 3 THU 外国人留学生特別入試
- 8 TUE ▶ 10 THU 企業研究セミナー



3 March

- 3 THU 社会人特別入試(B日程)・編入学試験(B日程)
- 4 FRI 一般入試(後期日程)
- 24 THU 平成22年度卒業式

4 April

- 5 TUE 平成23年度入学式

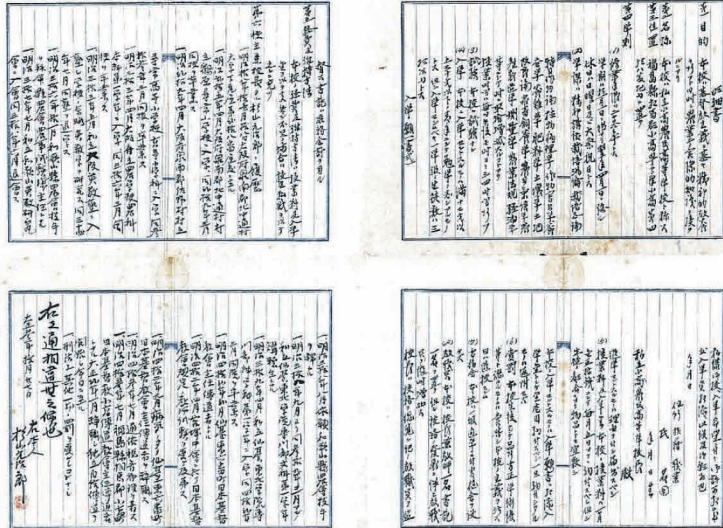
※入試に関する詳しい日程は、大学のホームページをご覧ください。

杉山元治郎と 私立小高農民高等学校

経済学部教授 **岩本 由輝**

「ヤソの先生は百姓だ」ということで、大阪農学校出身の杉山元治郎さんの農業技術に対する評判が高まってくると、1911年2月7日、小高尋常高等小学校校長の高野亀治郎さんが杉山さんを小高教会に訪ねて来て農閑期に農村青年に農業を学ばせたいので、青年会夜学校の授業を担当してくれるように依頼がありました。杉山さんは快諾し、4月18日に青年会夜学校の規則書を作り、農閑期に入った11月14日から開講しました。数は少なくとも学びたい人間があれば、それを見離すわけにはいかないという使命感を杉山さんは持っていました。1912年、1913年と杉山さんはこの夜学校を続けています。この間、小高教会よりもっと条件のよい教会に転任するか、あるいはアメリカに留学しないかという話もありましたが、杉山さんはそれを断わり、1913年1月にミッションに辞表を出し、自給伝道に踏み切り、田20アール・畑1ヘクタールを借りて生活基盤を整えると同時に、青年会夜学校を私立小高農民高等学校に発展させる計画を立てています。

その結果、1914年10月27日に杉山さんは福島県知事あてに「私立学校設立認可願」を提出しています。それによれば、私立小高農民高等学校は「基督教主義ニ基キ精神的教養ヲ行フト同時ニ、農業上ノ實際的知識ヲ授クルニアリ」ということをうたっています。それはデンマークのルター一派神学者ニコライ・フレデリック・



小高農民高等学校の明細書(1914.10.27)。

セヴェリン・グルントヴィの国民高等学校に範をとったものであります。その際、杉山さんはグルントヴィを紹介したアントン・ハインリッヒ・ハンス・ホルマン著の『国民高等学校と農民文明』(那須皓訳・東京同志社刊行)を参考にしましたが、とくにクリステン・コールドの手法を学んだようです。

こうして日本最初の農民高等学校が誕生しました。そのことは杉山さんと賀川豊彦さんを共通の友人とする日本ゆにてりあん協会牧師の沖野岩三郎さんによって1917年11月刊行の『雄弁』9-12所載の「日本基督教会の新人と其事業」において紹介されましたが、これを読んだ賀川さんは1918年1月刊行の『救済研究』7-1所載の「日本農村の社会問題」において「農民学校の必要」を説き、「日本では杉山元治郎君

が、高等農民学校を一つ興して居るだけで、その他はまだ設立を聞かないが」と述べ、杉山さんの事業を日本最初のものとして高く評価をしています。

このことが契機となって、1922年4月9日、杉山さんと賀川さんの主唱のもとで日本農民組合が結成されたのであり、さらに1927年2月11日に始まる農民福音学校の運動は杉山さんと賀川さんの協力のもと、杉山さんの小高農民高等学校の理想が全国各地に展開されていくことになります。宮城県では利府農民福音学校の事例を挙げることができます。

■土樋キャンパス
 大学院:文学研究科、経済学研究科、経営学研究科
 法学研究科、法務研究科
 学 部:文学部・経済学部・経営学部・法学部(各3・4年)
 夜間主コース
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
 TEL.022-264-6411 FAX.022-264-3030

■多賀城キャンパス
 大学院:工学研究科
 学 部:工学部
 〒985-8537 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号
 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

■泉キャンパス
 大学院:人間情報学研究科
 学 部:文学部・経済学部・経営学部・法学部(各1・2年)
 教養学部
 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学校・東北学院高等学校
 〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校
 〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園
 〒985-0862 宮城県多賀城市高崎三丁目7番7号
 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655



「URANOS(ウーラノス)」は「天」を意味するギリシャ語です。ヘブライ人への手紙9章24節は、「キリストは、まことのものの写しにすぎない、人間の手で造られた聖所ではなく、天そのものに入り、今やわたしたちのために神の御前に現れてくださったからです」と語っています。この箇所にも οὐρανός の語が用いられています。

URANOS ウーラノス
 東北学院大学
 広報誌 vol.13

広報誌編集委員会

委員長	総務担当副学長	柴田 良孝
副委員長	総務部長	日野 哲
委員	宗教部長	佐々木 哲夫
	文学部教授	楠 義彦
	経済学部准教授	白鳥 圭志
	経営学部教授	佐藤 邦廣
	法学部教授	伊藤 一義
	工学部教授	石川 雅美
	教養学部准教授	山崎 冬太
	総務部総務課長	門脇 邦知
	総務部総務課長補佐	齋藤 信二
	総務部総務課	藁科 明宏

東北学院大学広報誌「URANOS(ウーラノス)」に関するご意見・ご質問をお待ちしております。

本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて

本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

発行日は、7月20日・12月20日です。

発行日 2010(平成22)年12月20日
 編集 東北学院大学 広報誌編集委員会
 発行 東北学院大学
 〒980-8511
 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
 TEL.022-264-6412 FAX.022-264-3030
 URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>
 E-mail uranos@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

我ら 卒業生

すべてが初めて尽くし



人とのつながりは大切と話す熊谷さん。好きな言葉は「お陰様で」。

大学では歴史を学んで、将来は教員をめざそう。そんな思いから東北学院大学に入学しました。私の生まれ育った日光は、豊かな自然に囲まれていて、東京よりも仙台の方が暮らしやすいと思ったことも、東北学院大学を選んだ理由の一つです。

私にとっては、すべてが初めて尽くしの大学生活でした。入学後は、まわりに知っている人がいなかったこともあり、新しい友人がたくさんできました。初めての一人暮らしを通じて、親のありがたみも心底わかりました。

サークルは、初心者でも始められると思って、少林寺拳法部に入りました。学生時代の思い出は?と聞かれて、まずパツと思いつくのが胴着を着て走っている姿です。当時の少林寺拳法部には女子が多く、みん

なで気持ちを一つにして頑張りぬきました。

大学での勉強は、いわば追究する学問。史学科(現・歴史学科)では、歴史上の人物の生き方や考え方で探求することができました。

現在は念願が叶って、母校の中学校で教員をしています。今は特別支援教育の担当で、校内の特別支援クラスを受け持っています。社会だけでなく、国語や数学、英語も教えないといけないので、私自身、毎日が勉強です。

東北学院大学は、人づくりに力を入れているので、人とともに行動し、体験を共有することで、気持ちがつながる大学だと思います。在学生の皆さんは、人間関係を大切にしながら、新しいことにどんどんチャレンジして欲しいですね。



日光市立今市中学校 教諭

くま かい あき こ

熊谷 明子さん

1988(昭和63)年文学部史学科(現・歴史学科)卒業。小学校時代の担任が校長を務めているという母校で教壇に立つ。栃木県出身。

編集後記

12月になって街はクリスマス飾りですっかり彩られました。クリスマスから新年にかけては、理屈抜きで楽しく、嬉しく、家族や友人、知人の暖かさを感じて、元気の出る方も多いのではないのでしょうか。

2011年は、長く権威があった英国王ジェームズ1世の欽定訳聖書(1611年)400周年にあたり、一大聖書ブームが来るのではないかと言われています。奇しくも東北学院は4月に文学部総合人文学科をスタートさせ、5月には創立125周年を迎えます。継承と革新を意識しながら、聖書の言葉を思い浮かべ、楽しさとともに感謝を忘れずこの冬を過ごしたいと思います。